

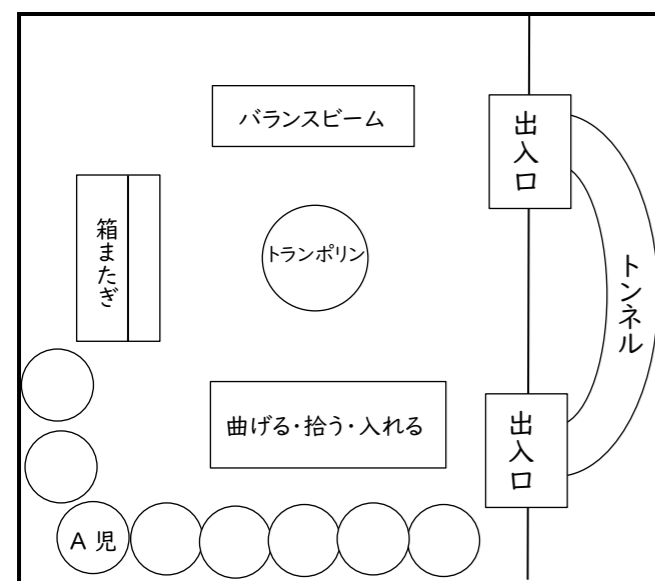
授業づくりシート

領域名 自立活動

4 学年

テーマ	楽しく身体を動かそう！	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し行くと活動内容がわかり、取り組むことができる。(心理的な安定) ・粗大運動(しゃがむ、バランスをとるなど)で難しい動きがある。(身体の動き) ・体幹が弱い。(身体の動き) 	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・膝を曲げたり、伸ばしたりすることができる。(身体の動き) ・姿勢を保持して歩くことができる。(身体の動き) 	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
曲げる・拾う・入れる	<ul style="list-style-type: none"> ・膝を曲げて物を拾うことができる。 ・膝を伸ばして拾ったものをかごに入れることができる。 ・物を注視して拾うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉かけをしながら肩に手を添えて、上から軽く押すことで膝を曲げられるようにして物を拾うことができるようにする。 ・言葉かけと指さして膝を伸ばしてかごに入れられるようにする。 ・好きなキャラクターが描かれている物を用意して、注視できるようにする。
バランスビーム	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を保持して最後まで一人で歩くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手をつないで最後まで歩けるようにし、慣れてきたら少しずつ手をつなぐ距離を短くして一人で歩けるようにしていく。

○場の配置



○教材教具等



○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	○始めの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・座位を確認して、できるだけ正しい姿勢で挨拶をする。
9:52	○準備 <ul style="list-style-type: none"> ・上履きと靴下を脱ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・靴下を脱ぐように言葉かけし、必要に応じて支援する。
9:55	○サーキット運動 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容を知る。 <p><箱跨ぎ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・足を上げて、一歩ずつ箱に足を入れる。 <p><バランスビーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランスビームの上を歩く。 <p><トンネル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四つ這いの姿勢でトンネルをくぐる。 <p><曲げる・拾う・入れる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・膝を曲げてイラストカードを拾い、手を伸ばしてかごの中に入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・椅子に座って箱を拾う。 <p><トランポリン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数唱に合わせて5回跳ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手本を見せて、活動内容がわかるようにする。 ・足を上げて、一歩ずつ箱に足を入れられるように、指さしや言葉かけを行う。 ・必要に応じて、手をつないで歩けるようにする。途中で降りてしまった際には、降りた所から再度歩くように言葉かけを行う。 ・足形を置くことで、足の向きを意識できるようにする。 ・四つ這いの姿勢でトンネルをくぐるように言葉かけを行う。 ・トンネルの中で、止まらないように、出口で言葉かけを行う。 ・好きなイラストが描かれているカードを、膝を曲げて取ることができるように、必要に応じて膝を曲げられるように支援を行う。 ・取ったイラストカードをかごに入れるように言葉かけを行う。手を伸ばしたり、背伸びをしたりするような位置にかごを設置する。 ・座った状態から斜め前に箱を置くことで、体重移動をしながら箱を拾えるようにし、箱を運んで机に置くようにする。 ・楽しい雰囲気ですトランポリンが跳べるように、数を数えて次への意欲に繋がられるようにしていく。 ・靴下、上履きを履くように言葉かけをし、必要に応じて支援を行う。 ・座位を確認して、できるだけ正しい姿勢で挨拶をする。
10:07	○身支度を整える。	
10:10	○終わりの挨拶	

○成果と課題

○児童の好きな活動を取り入れて、繰り返し行うことで活動内容がわかり、意欲的に取り組む児童が増えた。

○初めは膝を曲げずにカードを拾っていたが椅子に座って箱を拾う活動をすることで、自然に膝を曲げてカードを拾うことができるようになった。

△児童の目標に合わせて、活動量の確保と一つ一つの動作に取り組む時間のバランスが難しかった。